

- 「塩ビ系・ゴム系床シート・タイル」・「カーペット敷込み」  
床面積を計測計算し、算出した数値、設計数値として記載する。ただし長尺材以外で、タイル調の仕上げ材で割付けが必要とする場合は必要数値を算出し、梱包入数を調べて、「梱包数」・所要数量・「必要数値」設計数量を記載する。

- 「下地合板(捨張り)」----各仕上げ材下地合板捨張り。合板の働き幅・働き長さ、割付けし、必要数値を計測計算し、枚単位として算出し、「必要数値」設計数量を記載する。ただし床平面の形状が複雑な場合などは、下地合板が(900×1800mmの場合)---仕上げ材面積(m<sup>2</sup>)×<sup>2</sup>/<sub>3</sub> = ○(m<sup>2</sup>)÷1.5 = X枚(小数点1位が正数の場合は切上げる)、を算出数値を目安とする。

※合板を使用する場合の注意事項として、仕上げ材と合板の接合部の換気、換流が悪いので、多少の透き間を作る為、300mm(1尺)間隔に欠ぎ込み穴を明けるか、浅い鋸目を入れるかで多少の換気、換流が良くなる。

- 「下地板(捨)張り」----下地板(捨)は根太方向に対して斜め(45°)方向張りとし、板継ぎは必ず乱張りとする。こと。(化粧床縁甲板・化粧板フロー材を根太に直接留めることが必要な為、また接着剤は使用しないこと。) 必要数量に付いて根太間隔や捨板の長さよって多少の違いがあるが、床面積(m<sup>2</sup>)×1.18~1.25 = (小数点1位が正数の場合は切上げる)、を算出数値を目安とする。

★床下の水廻りの点検の為には床下点検孔か床下収納庫を必ず設けて、定期的に点検できる様にする。こと。また二階の水廻りでは一階の天井に天井点検孔を設けること。最近問題が起りつつある、ユニットバスの下部や軸廻りの点検できる様にユニットバス入口の脱衣室等に点検孔や床下収納庫を設けて点検できる様に基礎立上りの造りにも注意すること、また天井点検孔も設けること。

- 「左官工事による塗り仕上げ」-----
- 「塗装工事による塗り仕上げ」-----
- 「防水工事による塗り・張り・据付け仕上げ」-
- 「石・タイル工事による仕上げ」-----
- 「その他・各工事の仕上げ」-----

計測・計算による算出数値(m・m<sup>2</sup>)を設計数量として記載する。  
(割付計算が出来る仕上げ材の場合は必要数値や所要数量を算出する)

※詳細については後編にて記載する。

2. 壁面部位。 ※特に「腰面部位」は必要な場合のみとする。

◎ 壁面でもまづ仕上げの計測・計算すれば、下地材も自然とでてくる方式による。

壁面の計測・計算の順位として、図面上より、A・B・C・D各面か、又はN・E・S・W各面か、の順位として、各面ごとに(欠除共)計測・計算し各部屋ごとの数値をまとめること。

